

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 宍粟市参画と協働のまちづくり指針策定委員会	
開 催 日 時	令和3年9月1日（水）14:00～16:00	
開 催 場 所	宍粟市役所3階庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 作野広和	
委 員 氏 名	（出席者） 作野広和・野村和男・森脇常公・ 加治瑞穂・太田卓・柏木登起	（欠席者）
事 務 氏 局 名	市民生活部：森本部長・山本次長 まちづくり推進課：小河次長兼課長・福田係長・上川主事 人権推進課：梶原課長	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・将来人口と予想される課題 ・市内モデルの取組みについて ・次回日程：令和3年10月5日（火）	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ 作野 広和 _____ ⑩	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	※開会
委員長	あいさつ
委員長	(1) 将来人口と予想される課題について事務局より説明をお願いします。
事務局	※ (1) 将来人口と予想される課題について説明
委員長	何かご意見等あるか。
委員	働く場の不足だけが若者の流出の原因ではない。地域への誇り、自己実現できるかどうか地元に戻ってくることにつながる。仕事は車で姫路まで通っている人もいますので、働く場だけが課題ではないと思う。
事務局	若者が感じることとして、働く場があること、発言しやすい場があること、自己実現ができることを大事と考えている。高校生へのアンケートでも自分たちが置いて行かれていると感じているように思う。
委員長	「人口ビジョンから見る宍粟市の課題」は市としての整理だと思うが、こういったステレオタイプのまとめ方は問題である。こういった研究を長年しているが、地元から離れていく最大の原因は、自分たちが自己実現できる場が地元がないと、地元を見切ってしまうこと。行政等は若者の流出は仕事がないからと一方的に決めつけてしまっている。そのこと自体がより流出につながる原因になっている。
委員	アンケートから買い物についてなど日常生活についての不安が北部地域が多い。住んでいる所と活動拠点に距離がある。私自身Uターンしている身だが仕事は探せばあると思う。
副委員長	自治会の役員になりたくない人が多く、自治会によっては押しつけによって決まっている。老人会でも、活動はしたいが役員になることが嫌なため参加をためらう人もいます。自治会単位での老人会の活動は行いますが、連合自治会でとなれば嫌がる人も多い。現在の自治会の役員は任期は全うされるが十分な引継ぎができていないのではと思う。
	長期間自治会長を続けている人はこのような事情が分かっているから続けて

	<p>いる。継続性を保つためには次の役員に引き継いでいかなければいけないが、見つかりにくいのが現状。</p>
委員	<p>千種は1期1年が多い。仕方なくやっている人もいるのが現状かと思う。1年だけでは課題や活動内容の把握が難しいので1期2年などになればと思う。</p>
委員	<p>自治会が地域のために頑張っているのは分かるが、自治会の中で何が行われているのかがわからない状態、これが若者の無関心にもつながっていると思う。この状態だと将来、自分が参画したときに不安があり、意欲ある若者も声をあげにくいと思う。</p>
副委員長	<p>任期が短いのが問題点であり、中には長期でやっていただきたい人もいるが自治会の規約上辞めざるを得ないという面もある。</p>
委員長	<p>人口を増やそうと考えると増やすことはできないので、減少する中で良いまちをどのように作るかを考える必要がある。</p> <p>では、(2) 市内モデル地区の取組みについて事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※ (2) 市内モデル地区の取組みについて説明</p>
委員	<p>先月、アンケート活用委員会を開催した。これから住民の思いをどのようにまとめ、伝え、共有していくのが大事だと思う。</p>
委員	<p>千種の取組みの状況としては、具体的にどんなまちにしていきたいのか、方向性はまだ決まっていない状況。アンケート結果からまちづくりの方向性を見つきたい。視察に行った与布土地区は、当時の自治会長さん方がこのままではダメだということで、自治会と各家庭等を包括するもう一つの組織をつくり、住みよいまちになるよう進めておられる。千種も与布土地区に倣えば先が見えるように思う。</p>
委員長	<p>自治会とは別の組織を作ることは大事である。事務局から何かないか。</p>
事務局	<p>千種でされたアンケート結果を自治会に返し共有してもらい、これから考える機会としてもらいたいと考える。</p>
事務局	<p>92%のアンケート回収率からも、地域への愛着がある人が多いのではないかと考える。千種や繁盛が先進的な取り組みをしているので市内に広がっていけば</p>

	<p>と思う。従来の自治会活動、文化を保守的に守ることから一歩攻めにでてまちづくりを行うことが大事と考える。</p>
委員	<p>宍粟市の方は自分達で動かないといけないという気持ちが他の市町と比べ高いと感じる。アンケートからどんな地域を作っていきたいのか確認ができた。アンケートを行うきっかけは、まちづくりに関わってくれる人がどれくらいいるかというところだった。その結果 358 人が参加協力したいとの回答だった。この人たちが関われる仕組みを作ることが大事。</p>
委員長	<p>アンケート結果で「住み続けたい」と思われる人が 55.8%に対し 26.2%が「わからない」と回答している。この人たちが「住み続けたい」に変わると 82%の住民が「住み続けたい」となる。そのためには自己実現や活躍する場があるということが必要になる。</p>
委員	<p>More 繁盛の活動が地域を巻き込み、活性化していかないといいないと思っており、その点でMore 繁盛は重要な位置にある。もともとMore 繁盛は連合自治会が主体であったため、地区全体の意思とはかい離があるのが課題である。</p>
委員	<p>課題についてはその通りだが、More 繁盛は地区外のメンバーが加わったからこそ、スピード感をもった攻めの活動ができたとも考えられる。しかし合意形成には時間がかけられなかった。スピード感と合意形成のバランスが大事。住民全体が自分のことと思いつながりながら取り組まないといけない。</p>
委員	<p>千種の女性参画の状況だが、婦人会がなくなったことで女性の自治会との関わりがなくなった。コロナ禍で活動はできていないが、女性や若者も含めて元気になる場を作っていきたい。</p>
委員	<p>千種の場合はええとこセンターという拠点に支援員がいらっしゃって、そこで活動してみようとする女性がいるなら後押ししていく仕掛けを考えておられる。人が集まる拠点があり、支援員がコーディネーターとして、ここで色々やってみませんか、というような役割を果たしていく、という点で事務局としての1つのモデルケースだと思う。</p>
委員長	<p>ここまでの意見を整理すると、人口減少や高齢化に伴い自治会の課題は増えてくる。それについて、自治会長の任期の問題や合意形成など、自治会の課題解決を待ってから、市全域で取組みを進めていこうというのは苦しい。千種や繁盛のように、地域の合意形成をとった上で別組織を立ち上げ、そこが柔軟に動</p>

	<p>くような体制を作るというのが1つの手段である、と言えるのではないかなと思う。2つの地域はやり方やタイプは違うが、それぞれ色んな人が参画しながら課題解決ややりたいことに取組まれている。</p>
副委員長	<p>自治会の課題を解決してからでは進めづらいとのことだが、山崎地区の場合、別組織をつくるのは大変に思う。自治会の延長ならまだしも結局、重複して同じ人がやることになるのではないか。</p>
委員長	<p>千種と繁盛は例の一つで、宍粟市は必ずこのように進めていくという話ではないので、その点は誤解のないようお願いしたい。</p>
委員	<p>任期の話が出たと思うが、156自治会すべてが規約を変えるのは大変で、それを待っているより先に人口減少や地域の課題が見過ごせなくなってくる。繁盛の場合はMore 繁盛もあり、連合自治会をどうしていくかが課題である。以前の会議で、連合自治会が地域全体の合意形成をできるような、連合自治会をバージョンアップさせるというのも一つという話がでた。</p> <p>山崎町は連合自治会のバージョンアップした形で、自治会長だけでなくまちづくりをやりたい人に関わってもらえるような仕組みや組織をつくっていくというようなやり方も考えられる。</p>
副委員長	<p>山崎地区は28自治会あって別組織にするとまとめるのは困難。自治会の延長という形で声掛けした方がまとまりやすいのではと思う。</p>
委員長	<p>宍粟市をどうしていくかは次回以降、協議させていただきたい。多様な主体が参画して地域の課題を解決する組織を国では地域運営組織と呼び、自治会とは別の組織としてつくることもあり、連合自治会をバージョンアップさせたような地域もある。</p> <p>事務局で、先進事例である新見市の動画を用意しているとのことなので、願います。新見市は市が主導して形を作って進めておられ、別組織として進めた場合という動画で、千種に合う方法かと思う。</p> <p>※新見市映像</p>
委員	<p>宍粟全体に広げていくという点では千種の進め方が参考になるように思う。また、新見市の進め方と千種の進め方は似ている。自治会長の任期の問題で関心のある自治会長がまちづくりに関わらなくなるという地域課題を解決し、関心のある人たちが関われるような仕組みにしないといけない。</p>

委員長	これまでの疑問点を元に、宍粟市はどうしていくのかを3回目の議題に。 では、(3) 次回日程について事務局より願います。
事務局	10月5日午前でどうか。
委員	※意義なし
事務局	開催時間は調整させていただく。
副委員長	※閉会あいさつ

言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。